

【2024 パリオリンピックに向けて】



マウンテンバイク クロスカントリーオリンピック選手

村上 功太郎 遠征計画書

2022年2月 説明資料

目次

- 1 .競技説明
- 2 .プロフィール
- 3 .これまでの大会成績
- 4 .ヨーロッパ遠征の目的と活動計画
- 5 .経験を活かして



2020年MTBアジア選手権：3位

1. 競技説明

1-1. マウンテンバイク・クロスカンントリー競技とは

- ・ 1 周4km～6kmの山間部の周回コースを約90分走り、ゴール順を競う。
- ・ 1996年のアトランタオリンピックから正式種目となっている。
- ・ マウンテンバイク競技の中では最もメジャーな種目。



2020年MTBアジア選手権：3位

1. 競技説明

1-2. シクロクロス競技とは

- ・ 1周3km～4kmの不整地の周回コースを約60分走り、ゴール順を競う。
- ・ 冬期の自転車競技としてオランダ、ベルギーほかヨーロッパ各国で絶大な人気を誇るレースで、近年日本国内においても競技人口が増えている。



2018年 ベルギー単独遠征

2.プロフィール

- 2000年4月28日 西予市生まれ（現在21歳）
- 中学2年生より本格的にマウンテンバイク競技を始める
- 西予市立宇和中学校 卒業
- 愛媛県立松山工業高校 機械科 卒業
- 現在 松山大学 経営学部経営学科 3 回生



2018年アジア選手権：団体2位

3.これまでの大会成績（国内大会）

- 2014年 中学2年生より本格的にレースに参戦
- 2017年 マウンテンバイク全日本選手権（ジュニア）3位
- " シクロクロス 全日本選手権（ジュニア）優勝
- 2018年 マウンテンバイク 全日本選手権（ジュニア）優勝
- " シクロクロス 全日本選手権（U23）優勝
- 2019年 マウンテンバイク全日本選手権（U23）4位
- " シクロクロス 全日本選手権（U23）2位
- 2020年 マウンテンバイク 全日本選手権（U23）2位
- " シクロクロス全日本選手権（U23）2位
- 2021年 マウンテンバイク 全日本選手権（U23）2位
- 2021年 シクロクロス全日本選手権（U23）優勝
- 2016年～2020年 日本自転車競技連盟 マウンテンバイク強化指定選手
- 2017年～2021年 日本自転車競技連盟 シクロクロス強化指定選手
- **2021年8月現在、日本人選手では最高クラスのエリート選手を含めた上位トップ5選手に入っています。**

3.これまでの大会成績（国外大会）

- 2017年 マウンテンバイク 世界選手権（オーストラリア）50位【ジュニア】
- " マウンテンバイク アジア選手権（中国）5位【ジュニア】
- " シクロクロス 世界選手権（ルクセンブルク）30位【ジュニア】
- " シクロクロス ワールドカップ（Zolder）44位【ジュニア】
- " シクロクロス スーパープレステージュ（Diegem）38位【ジュニア】
- " シクロクロス ワールドカップ（Hoogerheide）38位【ジュニア】
- 2018年 マウンテンバイク アジアシリーズ戦（フィリピン）優勝【ジュニア】
- " マウンテンバイク 世界選手権（スイス）98位【ジュニア】
- " マウンテンバイク アジア選手権（フィリピン）4位【ジュニア】
- " シクロクロス 世界選手権出場（オランダ）45位【ジュニア】
- 2019年 マウンテンバイク アジア選手権（レバノン）5位【U23】
- " マウンテンバイク 世界選手権（カナダ）53位【U23】
- " シクロクロス 世界選手権（デンマーク）59位【U23】
- 2020年 マウンテンバイク アジア選手権（タイ）3位【U23】

4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(1) 遠征目的

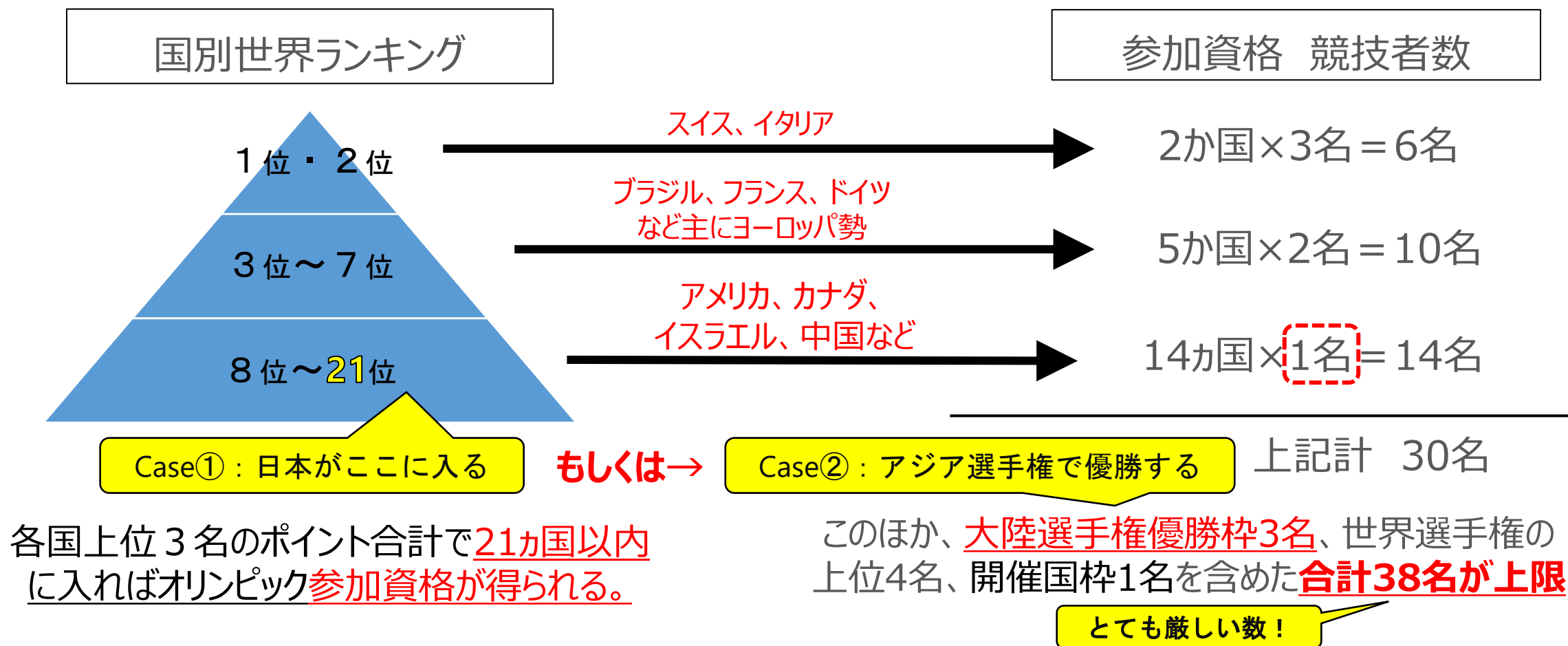
◎ 最終目標は2024年パリオリンピック出場（種目：マウンテンバイク クロスカントリー）

★ 目的達成のためには

- 👉 日本国としてのオリンピック出場枠の獲得が必要
- 👉 世界各地で開催される国際大会でのポイント獲得が必須
- 👉 日本では国際レースが少ない＝ポイントが獲れない
- 👉 競技レベルの高い環境でレベルアップが必要
- 👉 **自転車競技の本場であるヨーロッパで活動**

4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(2) オリンピック出場枠の仕組み ※東京オリンピックの場合



4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(3) オリンピック日本代表選手選考方法（これまでの実績による参考）

◎ IOCからのパリオリンピックの選考条件の発表は2022年3月頃

👉 日本が国として参加資格枠（1枠）を獲得できた場合

👉 日本選手の代表選考は下記のいずれかになる見込み

① 国際ポイント合計数の高い順

② 代表決定レースでの選考

4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(4) ヨーロッパでの活動計画

ヨーロッパでは、春～夏はマウンテンバイク、冬はシクロクロス競技が開催される。

◎ **マウンテンバイクレース**はスイスを中心に、ドイツ、フランス、イタリアなどで開催

☞ 春・夏はドイツを拠点とし、**単身**でマウンテンバイクレースに参戦

◎ 移動は鉄道・レンタカー

◎ 宿泊先は1ヵ月～2ヵ月単位でホテルまたはアパートメント

◎ **シクロクロスレース**はオランダとベルギーを中心に開催

☞ 秋・冬はオランダを拠点とし、シクロクロスレースに参戦

◎ 受入先（チーム）について現在調整中

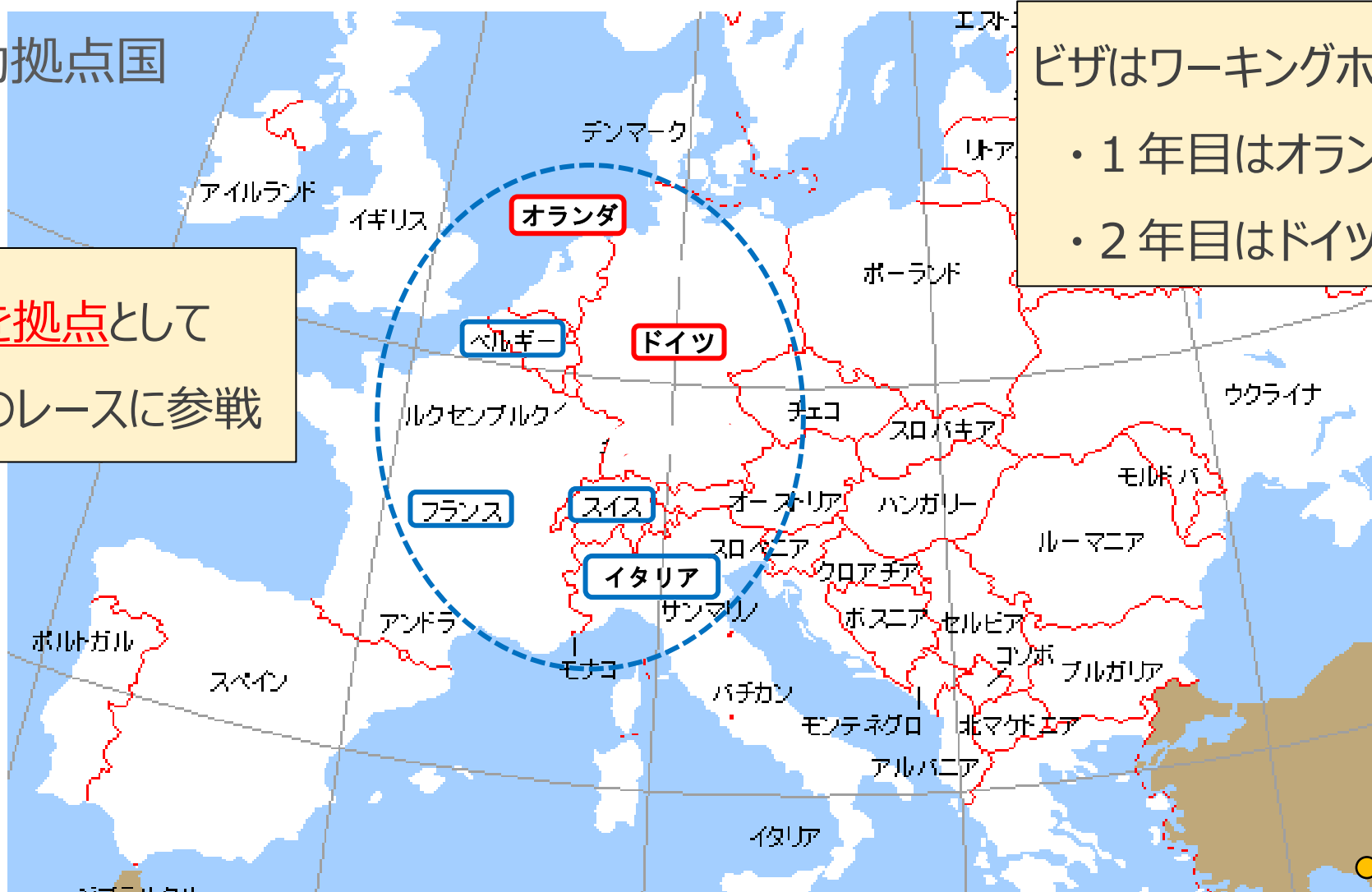
4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(5) 活動拠点国

オランダ・ドイツを拠点として
ヨーロッパ各国のレースに参戦

ビザはワーキングホリデービザを予定

- ・1年目はオランダ
- ・2年目はドイツ



4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(6) 年間スケジュール

	2022年					2023年												2024年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
国内レース	渡航				シクロクロス 全日本選手権					マウンテンバイク 八幡浜国際大会		マウンテンバイク 全日本選手権					シクロクロス 全日本選手権					マウンテンバイク オリンピック代表決定戦				
滞在国	オランダ 日本 オランダ トルコ イタリア 日本 ビザ・1年目＝ワーキングホリデー（オランダ）11ヵ月										ドイツ スイス オランダ 日本 オランダ トルコ イタリア 日本 ビザ・2年目＝ワーキングホリデー（ドイツ）10ヵ月															●Paris オリンピック
海外レース マウンテンバイク						●トルコ国内での国際レース(全8戦) ●イタリア国内でのレース (国際レースを含む) ●アジア選手権					●ワールドカップ ●ドイツ国内でのレース (国際レースを含む) ●スイス国内でのレース (国際レースを含む)					●トルコ国内での国際レース(全8戦) ●イタリア国内でのレース (国際レースを含む)										
海外レース シクロクロス	●ワールドカップその他 オランダ・ベルギーでの主要大会(全20戦) ●世界選手権(オランダ)										●ワールドカップその他 オランダ・ベルギーでの主要大会(全20戦) ●世界選手権(チェコ)															

4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(7) 遠征期間と大学の在籍について

- ◎ 遠征期間は2022年8月から2024年7月までの2年間
- ◎ 大学は2年間休学し、2024年8月に復学予定

4.ヨーロッパ遠征の目的と活動計画

(8) 必要経費

2年間のレース活動と生活に必要な費用はおよそ 710万円 となります。

なお、内訳は以下となります。

①渡航費用（日本～欧州）42.5万円×4往復＝170万円

（マウンテンバイク全日本選手権及びシクロクロス全日本選手権出場のため、2度帰国予定）

②生活費 420万円（内訳：宿泊費270万円、食費100万円、携帯電話通信料20万円、その他雑費30万円）

③レース活動費 120万円（欧州内移動費30万円、機材費40万円、エントリー費30万円、現地サポート費20万円）

5. 経験を活かして

大学卒業後は社会人として仕事と選手活動を両立しながら、ヨーロッパでの経験を活かして主に四国各地での自転車文化の発展に寄与できるような様々な活動に取り組みたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

是非ともご支援のほど宜しくお願いいたします。

村上 功太郎